

NEXT GIGA の新しい教育に向けて、デジタル機器を活用した新しい学びの提案 ～デジタル機器を活用した新しい学びの提案～

I 団体について

【団体の概要】

- 東京都中学校視聴覚教育研究会(以下都中視研)は、東京都内全ての公立中学校の教員で構成される研究団体である。
- 中学校視聴覚教育や情報教育の研究・調査並びにその普及・促進を図ることを目的とし、以下の事業を行う。
 1. 中学校における視聴覚教育や情報教育に関する研究並びに調査
 2. 中学校における視聴覚教育や情報教育の普及・促進並びにその施設の拡充に寄与すること
 3. 関係諸団体との連絡、提携を図ること
 4. その他、本会の目的達成に必要な事業

II 年間活動について

【研究会の活動】

令和6年度の活動は以下のとおりである。

- 1 定期総会(6月15日<土> 会場:墨田区立錦糸中学校)
 - ・前年度の活動報告、本年度活動計画、組織等の承認
 - ・研修会(『生成 AI について～校務での活用～』)
- 2 夏季研修会①(8月6日<火> 会場:千代田区立神田一橋中学校)
 - ・Canva を活用した授業づくり、生成 AI の活用方法(ワークショップ)
- 3 夏季研修会②(8月8日<木> 会場:Apple Japan 東京・六本木)
 - ・iPad アプリを活用した授業づくり(ワークショップ)
- 4 事務局会・研修会(8月29日<木> 会場:墨田区立錦糸中学校)
 - ・スタディポケットの活用(ワークショップ)

- 5 第50回全日本教育工学研究協議会・東京都港区大会
(10月25日<金>・26日<土> 会場:港区立赤坂学園赤坂中学校他)
 - ・授業公開、基調講演、特別講演
 - ・ワークショップ、研究発表、パネルディスカッション
- 6 第28回視聴覚教育総合全国大会
第74回放送教育研究会全国大会 合同大会
(11月9日<土> オンライン)
 - ・セミナー、ワークショップ、実践発表会、全体会
- 7 令和6年度関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会長野大会
(11月15日<金> 会場:上田市立第一中学校、上田市立第二中学校、上田市交流文化美術センター)
 - ・公開授業、分科会、記念講演
- 8 事務局会・研修会(12月7日<土> 会場:墨田区立錦糸中学校)
 - ・研究大会に向けた協議、研究紀要の作成準備
 - ・授業実践報告①
- 9 Educational Solution Seminar 2024 in 東北
(令和6年度 情報教育対応教員研修全国セミナー 12月26日<木>)
- 10 東京都中学校視聴覚教育研究会・研究大会(未定)
- 11 事務局会・研修会(2月22日<土> 会場:墨田区立錦糸中学校)
 - ・活動の総括、授業実践報告②



夏季研修会①のようす



JAET 全国大会 全体会

Ⅲ 第28回視聴覚教育総合全国大会での発表

『個別最適な学びの実現に向けた授業改善』

中学校における個別学習と自由進度学習の導入と成果・課題

千代田区立神田一橋中学校 岩井 洋平

【概要】

本報告では、中学校の数学授業において、個別学習と自由進度学習を導入した取組を紹介する。

Bloom's Digital Taxonomy を活用した授業実践や Kahoot! による理解度チェック、生成 AI を使った個別フィードバック、さらにデジタル教科書、ミライシード、スタディアサプリの ICT ツールを統合的に活用した。その結果、生徒の学習意欲が向上し、自己管理能力や協働学習の力も高まったことが確認された。

1. 実践のねらい

本実践のねらいは、個別最適な学びを通じて、生涯にわたって学び続けられる人を育成することである。

生徒の学習スタイルや理解度が多様化している現状に対応するため、数学の授業において、生徒一人一人が自分のペースで学習を進められる環境を整えることを目指す。

さらに、ICT ツールを活用して生徒の自己管理能力を養い、他者との協働学習を通じて数学的思考力を深めることも目標とする。

2. 実践の方法・流れ

(1) Bloom's Digital Taxonomy の活用

Bloom's Digital Taxonomy を参考にし、生徒の思考スキルを育成することを目指す授業設計にした。

(2) ICT ツールの活用

デジタル教科書やミライシード・スタディアサプリの動画視聴を活用し、生徒が個別学習の内容を確認・復習できる環境を整備した。また、Kahoot! を使用して定期的に理解度チェックを実施し、ゲーム感覚で楽しく学習内容を復習できるようにした。

(3) 学習進捗と振り返りの管理

学習進捗や振り返りをエクセルで記録し、クラウド上にアップロードすることで、生徒や教員が進捗状況を共有できる環境を整備した。

(4) 個別学習の支援とフィードバック

各生徒の進捗状況を定期的にモニタリングし、必要に応じてサポートを提供。フィードバックには ChatGPT を活用し、生徒一人一人に合わせた個別フィードバックを行い、学習内容の理解を深めた。



3. 実践の結果・考察

今回の実践により、生徒の学習意欲が向上し、自分のペースで学習を進めながら内容を深める姿が多く見られた。これは、Bloom's Digital Taxonomy に基づく授業設計が、生徒一人一人の思考を段階的に引き出し、理解を深める効果があったためと考えられる。ICT ツールを活用した学習環境は、生徒の主体的な学びを支援し、学習進捗や振り返りを他の生徒と共有することで、互いに教え合いながら学ぶ姿勢が育まれた。これにより、生徒同士が積極的に意見を交換し、協働的な学びが促進されたと考えられる。また、ChatGPT を活用した個別フィードバックにより、生徒は具体的な課題への対処方法や次の学習ステップへの方向性を得ることができた。こうしたフィードバックは、生徒の理解をさらに深め、自主的な学びを後押しする効果があったと考えられる。

4. 今後に向けて

生徒が生成 AI を活用し、自律的な学びを深めることが重要である。生成 AI を通じて、生徒はいつでも疑問を解決し、個別にサポートを受けることで、自分のペースで効率的に学習を進める力を養う。さらに、学習の理解度の向上を定期的に検証し、学習成果を数値的に把握することで、必要に応じて指導方法の見直しを行うことが求められる。

参考文献

GIGA スクール用ポスター「1人1台時代の創造的な学び」(デジタル・タキソノミー) NEL&M (nelmanage.com)
<https://www.nelmanage.com/20201215-digitaltaxonomy-japan/>

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都中学校視聴覚教育研究会
代表者	所属	墨田区立錦糸中学校
	職 氏名	校長 和田 浩二
	連絡先	03-3625-0375
事務局	所属	千代田区立神田一橋中学校
	職 氏名	主任教諭 岩井 洋平
	連絡先	03-3265-5961
団体ホームページ	URL	https://www.tochushiken.com/
	二次元コード	